

平成27年度

大網白里市決算審査意見書

公 営 企 業 会 計

(ガス事業・病院事業)

大網白里市監査委員

— 目 次 —

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1

【ガス事業会計】

1	経営状況について	2
(1)	経営成績について	2
2	審査状況について	2
(1)	概況	2
(2)	収益的収入及び支出	3
(3)	資本的収入及び支出	4
(4)	損益計算書比較表	5
(5)	貸借対照表	6
	むすび	6

【病院事業会計】

1	経営状況について	7
(1)	経営成績について	7
2	審査状況について	7
(1)	概況	7
(2)	収益的収入及び支出	8
(3)	資本的収入及び支出	9
(4)	損益計算書比較表	10
(5)	貸借対照表	11
	むすび	11

※ 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

※ 負数は「△」で表示した。

平成27年度大網白里市公営企業会計決算審査意見

第1 審査の対象

平成27年度大網白里市ガス事業会計決算
平成27年度大網白里市病院事業会計決算

第2 審査の期間

平成28年7月1日から平成28年7月29日まで

第3 審査の方法

決算書、その他関係諸表等の確認と予算の執行及び事業の経営、管理が適性かつ有効に運営されているか検証するため、関係諸帳簿、証書類、資料等について、確認を行い審査した。

第4 審査の結果

審査に付された平成27年度大網白里市公営企業会計（ガス事業会計・病院事業会計）の決算諸表は、地方公営企業法、同施行規則の規定に基づいて作成され、財政状態及び経営成績を適正に表示しているものと認めた。

【ガス事業会計】

1 経営状況について

(1)経営成績について

当年度ガス事業会計においては総収益676,373,189円に対し、総費用664,278,089円で、純利益は12,095,100円となっている。

経営状況の過去3カ年にわたる実績を比較すると次表のとおりである。

(単位:円)

区分 \ 年度	総収益	総費用	純利益
27年度	676,373,189	664,278,089	12,095,100
26年度	723,956,172	674,348,698	49,607,474
25年度	638,684,197	626,531,695	12,152,502

2 審査状況について

(1)概況

ガス事業内容を過去3カ年にわたり比較すると次表のとおりである。

区分 \ 年度	25年度	26年度	前年度比 (%)	27年度	前年度比 (%)
年度末供給戸数 (戸)	11,199	11,298	100.9	11,394	100.8
供給ガス量 (m ³)	7,409,734	7,499,059	101.2	7,223,182	96.3
ガス購入量 (m ³)	7,328,318	7,322,166	99.9	7,012,776	95.8
1ヶ月平均供給ガス量 (m ³)	617,478	624,922	101.2	601,932	96.3

事業内容を見ると、年度末供給戸数は11,394戸で、前年度より96戸の増加となっている。

供給ガス量は7,223,182m³で、前年度と比較して275,877m³の減となっており、1ヶ月平均供給ガス量は601,932m³となっている。

勘定外ガスについては、△212,845m³である。

(2) 収益的収入及び支出

収入

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		予算対決算増減	
	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度
ガス事業収益	772,769,000	911,520,000	725,671,202	772,551,145	△ 47,097,798	△ 138,968,855		
製品売上	661,540,000	646,009,000	630,527,149	640,845,273	△ 31,012,851	△ 5,163,727		
営業雑収益	52,320,000	60,084,000	36,417,400	42,683,275	△ 15,902,600	△ 17,400,725		
営業外収益	58,909,000	205,427,000	58,726,593	67,495,379	△ 182,407	△ 137,931,621		
特別利益	0	0	60	21,527,218	60	21,527,218		

支出

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		不用額	
	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度
ガス事業費用	747,044,000	910,828,000	705,338,244	714,166,430	41,705,756	196,661,570		
売上原価	346,045,000	313,001,000	318,543,706	304,146,200	27,501,294	8,854,800		
供給販売費及び一般管理費	341,570,000	517,774,000	341,113,786	355,240,936	456,214	162,533,064		
営業雑費用	47,746,000	57,241,000	33,192,853	39,748,102	14,553,147	17,492,898		
営業外費用	10,689,000	13,970,000	10,687,096	7,399,990	1,904	6,570,010		
特別損失	0	7,842,000	1,800,803	7,631,202	△ 1,800,803	210,798		
予備費	994,000	1,000,000	0	0	994,000	1,000,000		

収益的収入の主なものは製品売上(ガス売上)で、前年度決算額640,845,273円に対し当年度決算額630,527,149円で10,318,124円の減少であり、仮受消費税及び地方消費税46,647,881円が含まれているので実質決算額は583,879,268円である。

営業雑収益は、前年度決算額42,683,275円に対し当年度決算額36,417,400円で、6,265,875円の減少であり、仮受消費税及び地方消費税2,620,540円が含まれているので、実質決算額は33,796,860円(うち受注工事収益は31,592,380円)である。

営業外収益は、前年度決算額67,495,379円に対し当年度決算額58,726,593円で、8,768,786円の減少であり、仮受消費税及び地方消費税29,592円が含まれているので、実質決算額は58,697,001円(うち雑収益は2,266,744円)である。

特別利益は、前年度決算額21,527,218円に対し当年度決算額60円で、21,527,158円の減少であり、仮受消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は60円である。

収益的支出の主なものは売上原価、供給販売費及び一般管理費で、前年度決算額659,387,136円に対し当年度決算額659,657,492円で、270,356円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税30,521,045円が含まれているので実質決算額は629,136,447円である。

その他営業費用は、前年度決算額39,748,102円に対し当年度決算額33,192,853円で、6,555,249円の減少であり、仮払消費税及び地方消費税2,109,920円が含まれているので、実質決算額は31,082,933円である。

営業外費用は、前年度決算額7,399,990円に対し当年度決算額10,687,096円で、3,287,106円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税は8,429,190円が含まれているので、実質決算額は2,257,906円である。

特別損失は、前年度決算額7,631,202円に対し当年度決算額1,800,803円で、5,830,399円の減少であり、仮払消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は1,800,803円である。

(3) 資本的収入及び支出

収入

(単位:円)

区分	年度	予算現額		決算額		予算対決算増減	
		27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度
資本的収入		5,814,000	20,737,000	12,859,957	16,295,826	7,045,957	△ 4,441,174
負担金		5,814,000	20,737,000	12,859,957	16,295,826	7,045,957	△ 4,441,174

支出

(単位:円)

区分	年度	予算現額		決算額		翌年度繰越額	不用額
		27年度	26年度	27年度	26年度		
資本的支出		167,023,200	214,999,680	152,258,027	161,652,242	0	14,765,173
建設改良費		136,987,200	182,292,680	130,222,746	138,946,017	0	6,764,454
企業債償還金		22,036,000	22,707,000	22,035,281	22,706,225	0	719
予備費		8,000,000	10,000,000	0	0	0	8,000,000

資本的収入は、前年度決算額16,295,826円に対し当年度決算額は12,859,957円で、3,435,869円の減少であり仮受消費税及び地方消費税303,504円が含まれているので実質決算額は12,556,453円である。

資本的支出は、前年度決算額161,652,242円に対し当年度決算額は152,258,027円で、9,394,215円の減少であり、仮払消費税及び地方消費税8,541,362円が含まれているので実質決算額は143,716,665円で、翌年度繰越額は0円である。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額139,398,070円は、過年度分損益勘定留保資金88,553,117円、当年度分消費税資本的収支調整額8,237,858円、減債積立金22,000,000円、当年度分損益勘定留保資金20,607,095円で補てんする。

(4) 損益計算書比較表

(単位:円)

科目	年度				
	25年度	26年度	前年度比	27年度	前年度比
1 営業収益	634,581,360	635,103,783	522,423	617,676,128	△ 17,427,655
(1)ガス売上	587,081,469	595,303,624	8,222,155	583,879,268	△ 11,424,356
(2)受注工事収益	46,355,647	38,626,342	△ 7,729,305	31,592,380	△ 7,033,962
(3)器具販売収益	9,500	43,310	33,810	29,920	△ 13,390
(4)その他営業雑収益	1,134,744	1,130,507	△ 4,237	2,174,560	1,044,053
2 営業費用	622,795,718	663,907,245	41,111,527	660,219,380	△ 3,687,865
(1)ガス売上原価	278,840,806	281,602,895	2,762,089	294,928,585	13,325,690
(2)供給販売費及び一般管理費	299,976,411	344,844,786	44,868,375	334,207,862	△ 10,636,924
(3)受注工事費用	43,970,901	37,429,654	△ 6,541,247	31,060,813	△ 6,368,841
(4)器具販売費用	7,600	29,910	22,310	22,120	△ 7,790
営業利益	11,785,642	△ 28,803,462	△ 40,589,104	△ 42,543,252	△ 13,739,790
3 営業外収益	4,102,837	67,325,171	63,222,334	58,697,001	△ 8,628,170
(1)有価証券利息(受取利息)	1,600,000	2,946,685	1,346,685	3,100,000	153,315
(2)長期前受金戻入	0	58,298,789	58,298,789	53,330,257	△ 4,968,532
(3)雑収益	2,502,837	6,079,697	3,576,860	2,266,744	△ 3,812,953
4 営業外費用	3,440,477	2,810,251	△ 630,226	2,257,906	△ 552,345
(1)企業債利息	3,440,477	2,809,351	△ 631,126	2,252,845	△ 556,506
(2)雑支出	0	900	900	5,061	4,161
経常利益	12,448,002	35,711,458	23,263,456	13,895,843	△ 21,815,615
5 特別利益	0	21,527,218	21,527,218	60	△ 21,527,158
(1)過年度損益修正益	0	21,527,218	21,527,218	60	△ 21,527,158
6 特別損失	295,500	7,631,202	7,335,702	1,800,803	△ 5,830,399
(1)過年度損益修正損	295,500	1,021,832	726,332	1,800,803	778,971
(2)その他特別損失	0	6,609,370	6,609,370	0	△ 6,609,370
当年度純利益	12,152,502	49,607,474	37,454,972	12,095,100	△ 37,512,374

営業収益617,676,128円の主なものは、ガス売上583,879,268円(94.53%)、受注工事収益31,592,380円(5.11%)である。

営業費用660,219,380円の主なものは、ガス売上原価294,928,585円(44.67%)、供給販売費及び一般管理費334,207,862円(50.62%)である。

営業外収益58,697,001円の主なものは、長期前受金戻入53,330,257円(90.86%)である。

営業外費用2,257,906円の主なものは、企業債利息2,252,845円(99.78%)である。

特別利益60円は、過年度損益修正益60円である。

特別損失1,800,803円は、過年度損益修正損1,800,803円である。

(5) 貸借対照表

(単位:円)

年度 区分	資 産 の 部		
	27年度	26年度	対前年度増減
固定資産	1,715,095,475	1,742,126,946	△ 27,031,471
流動資産	476,986,850	465,657,192	11,329,658
計	2,192,082,325	2,207,784,138	△ 15,701,813

(単位:円)

年度 区分	負 債 ・ 資 本 の 部		
	27年度	26年度	対前年度増減
固定負債	144,785,996	147,803,777	△ 3,017,781
流動負債	144,933,436	128,938,764	15,994,672
繰延収益	682,452,765	723,226,569	△ 40,773,804
資本金	705,703,472	705,703,472	0
剰余金	514,206,656	502,111,556	12,095,100
計	2,192,082,325	2,207,784,138	△ 15,701,813

貸借対照表の前年度との比較は上表のとおりであり、資産合計は2,192,082,325円で、前年度と比較して15,701,813円の減少である。

固定資産構成比率 (固定資産÷資産合計×100) = 78.24%

流動資産476,986,850円の内訳は、現金預金443,045,694円、売掛金21,206,691円、貸倒引当金△205,712円、未収金8,931,625円、貯蔵品2,166,800円、製品1,841,752円であり、前年度と比較して11,329,658円の増加である。

流動負債144,933,436円の内訳は、企業債19,017,781円、買掛金40,015,269円、未払金55,608,812円、未払費用1,740,892円、前受金19,234,309円、引当金7,166,373円、その他流動負債2,150,000円であり、前年度と比較して15,994,672円の増加である。

流動比率を見ると次のとおりである。

流動比率 (流動資産÷流動負債×100) = 329.11%

負債・資本合計2,192,082,325円に対する自己資本1,219,910,128円(資本金705,703,472円、剰余金514,206,656円)の構成比率は次のとおりである。

自己資本構成比率 (自己資本÷負債・資本合計×100) = 55.65%

剰余金514,206,656円の内訳は、資本剰余金43,463,541円(受贈財産評価額999,241円、工事負担金42,464,300円)、利益剰余金470,743,115円(減債積立金40,600,000円、利益積立金52,980,000円、建設改良積立金208,000,000円、災害準備積立金135,000,000円、当年度未処分利益剰余金34,163,115円)である。

《むすび》

ガス事業会計における平成27年度決算審査結果は以上のとおりである。

ガス事業については、安定供給と保安確保そして経営の効率化を基本的な理念とした事業運営を進めており、昨年と比較して既設供給区域内の需要家は96戸増加したが、販売実績は3.7%減少している。

その経営状況は、総収益6億7,637万3千円(前年度7億2,395万6千円)、総費用6億6,427万8千円(前年度6億7,434万9千円)であり、差し引き1,209万5千円(前年度4,960万7千円)の純利益となっている。

引き続き、経年導管対策事業に係る経費が膨らむことから、収支バランスを図りながら、公営企業としての基本理念を堅持し、経営の効率化及び健全化に努められたい。

【病院事業会計】

1 経営状況について

(1) 経営成績について

当年度病院事業会計においては、総収益2,327,897,367円に対し、総費用2,329,038,604円で、純損失は1,141,237円となっている。

経営状況の過去3カ年にわたる実績を比較すると、次表のとおりである。

(単位:円)

区分 \ 年度	総収益	総費用	純利益
27年度	2,327,897,367	2,329,038,604	△ 1,141,237
26年度	2,209,192,872	2,310,376,622	△ 101,183,750
25年度	2,250,630,481	2,238,012,368	12,618,113

2 審査状況について

(1) 概況

病院事業内容を過去3カ年にわたり比較すると次表のとおりである。

区分 \ 年度	25年度	26年度	前年度比 (%)	27年度	前年度比 (%)
入院患者数 (人)	27,849	27,059	97.2	27,626	102.1
外来患者数 (人)	72,910	64,198	88.1	64,015	99.7
計	100,759	91,257	90.6	91,641	100.4

事業内容を見ると、患者数計は91,641人で前年度に対し384人増(入院患者数567人増、外来患者数183人減)となっている。

(2) 収益的収入及び支出

収入

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		予算対決算増減	
	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度
病院事業収益	2,343,463,000	2,188,350,000	2,333,077,317	2,214,291,206	△ 10,385,683	25,941,206		
医業収益	2,203,595,000	2,044,562,000	2,193,980,087	2,044,043,563	△ 9,614,913	△ 518,437		
医業外収益	139,865,000	143,785,000	139,097,230	170,247,643	△ 767,770	26,462,643		
特別収益	3,000	3,000	0	0	△ 3,000	△ 3,000		

支出

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		不用額	
	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度
病院事業費用	2,370,712,000	2,321,740,000	2,330,015,746	2,311,347,619	40,696,254	10,392,381		
医業費用	2,322,032,000	2,225,993,000	2,286,827,409	2,221,134,841	35,204,591	4,858,159		
医業外費用	43,678,000	46,850,000	43,188,337	46,318,009	489,663	531,991		
特別損失	2,000	43,897,000	0	43,894,769	2,000	2,231		
予備費	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000	5,000,000		

収益的収入の主なものは医業収益(入院収益、外来収益、市繰出金等)で、前年度決算額2,044,043,563円に対し当年度決算額2,193,980,087円で149,936,524円の増加であり、仮受消費税及び地方消費税4,717,272円が含まれているので実質決算額は2,189,262,815円である。

医業外収益は、前年度決算額170,247,643円に対し当年度決算額139,097,230円で、31,150,413円の減少であり、仮受消費税及び地方消費税462,678円が含まれているので、実質決算額は138,634,552円である。

収益的支出の主なものは医業費用で、前年度決算額2,221,134,841円に対し当年度決算額2,286,827,409円で、65,692,568円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税79,947,667円が含まれているので実質決算額は2,206,879,742円である。

医業外費用は、前年度決算額46,318,009円に対し当年度決算額43,188,337円で、3,129,672円の減少であり、仮払消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は43,188,337円である。

特別損失は、前年度決算額43,894,769円に対し当年度決算額0円で、皆減である。

(3) 資本的収入及び支出

収入

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		予算対決算増減	
	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度
資本的収入	65,004,000	88,646,000	65,000,000	88,742,000	△ 4,000	96,000		
出資金	65,000,000	85,942,000	65,000,000	85,942,000	0	0		
補助金	2,000	2,000	0	0	△ 2,000	△ 2,000		
繰入金	0	2,700,000	0	2,700,000	0	0		
寄付金	1,000	1,000	0	100,000	△ 1,000	99,000		
企業債	1,000	1,000	0	0	△ 1,000	△ 1,000		

支出

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		翌年度繰越額	不用額
	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度		
資本的支出	154,244,000	150,917,000	149,407,533	144,176,896	0	4,836,467		
建設改良費	61,574,000	61,439,000	56,737,908	54,699,643	0	4,836,092		
企業債償還金	92,670,000	89,478,000	92,669,625	89,477,253	0	375		

資本的収入は、前年度決算額88,742,000円に対し当年度決算額は65,000,000円で、23,742,000円の減少であり、仮受消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は65,000,000円である。

資本的支出は、前年度決算額144,176,896円に対し当年度決算額は149,407,533円で、5,230,637円の増額であり、仮払消費税及び地方消費税4,202,808円が含まれているので、実質決算額は145,204,725円である。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額84,407,533円は、当年度分損益勘定留保資金84,407,533円をもって補填する。

(4) 損益計算書比較表

(単位:円)

科目	年度	25年度	26年度	前年度比	27年度	前年度比
1 医業収益		2,140,876,159	2,039,442,575	△ 101,433,584	2,189,262,815	149,820,240
(1)入院収益		1,122,952,064	1,059,479,477	△ 63,472,587	1,194,729,654	135,250,177
(2)外来収益		802,055,074	790,875,381	△ 11,179,693	794,573,615	3,698,234
(3)その他医業収益		215,869,021	189,087,717	△ 26,781,304	199,959,546	10,871,829
2 医業費用		2,140,114,681	2,143,880,523	3,765,842	2,206,879,742	62,999,219
(1)給与費		1,088,529,385	1,077,278,493	△ 11,250,892	1,119,054,079	41,775,586
(2)材料費		660,104,539	652,036,679	△ 8,067,860	688,404,907	36,368,228
(3)経費		308,413,444	321,036,195	12,622,751	322,613,145	1,576,950
(4)減価償却費		73,628,207	80,897,184	7,268,977	64,745,712	△ 16,151,472
(5)資産減耗費		118,019	2,261,067	2,143,048	260,000	△ 2,001,067
(6)研究研修費		2,121,087	1,970,905	△ 150,182	2,201,899	230,994
(7)看護師養成費		7,200,000	8,400,000	1,200,000	9,600,000	1,200,000
医業利益		761,478	△ 104,437,948	△ 105,199,426	△ 17,616,927	86,821,021
3 医業外収益		109,754,322	169,750,297	59,995,975	138,634,552	△ 31,115,745
(1)受取利息及び配当金		19,182	38,163	18,981	0	△ 38,163
(2)補助金		70,792,000	100,073,000	29,281,000	80,439,500	△ 19,633,500
(3)負担金及び交付金		31,214,000	29,074,000	△ 2,140,000	26,948,000	△ 2,126,000
(4)長期前受金戻入		0	33,111,134	33,111,134	23,363,127	△ 9,748,007
(5)その他医業外収益		7,729,140	7,454,000	△ 275,140	7,883,925	429,925
4 医業外費用		97,897,687	122,601,330	24,703,643	122,158,862	△ 442,468
(1)企業債利息		46,862,748	43,618,109	△ 3,244,639	40,425,737	△ 3,192,372
(2)その他医業外費用		51,034,939	78,983,221	27,948,282	81,733,125	2,749,904
(3)繰延勘定償却		0	0	0	0	0
経常利益		12,618,113	△ 57,288,981	△ 69,907,094	△ 1,141,237	56,147,744
5 特別利益		0	0	0	0	0
(1)過年度損益修正益		0	0	0	0	0
6 特別損失		0	43,894,769	43,894,769	0	△ 43,894,769
(1)臨時損失		0	43,894,769	43,894,769	0	△ 43,894,769
当年度純利益		12,618,113	△ 101,183,750	△ 113,801,863	△ 1,141,237	100,042,513

当年度の損益計算書は、総収益(医業収益+医業外収益)2,327,897,367円、総費用(医業費用+医業外費用)2,329,038,604円で、1,141,237円の純損失となっている。

総収益の内訳は、入院及び外来収益1,989,303,269円(構成比85.45%)、その他医業収益199,959,546円(8.59%)、医業外収益138,634,552円(補助金80,439,500円、一般会計負担金26,948,000円、長期前受金戻入23,363,127円、その他医業外収益7,883,925円)である。

総費用の内訳は、医業費用2,206,879,742円(給与費1,119,054,079円、材料費688,404,907円、経費322,613,145円、減価償却費64,745,712円、資産減耗費260,000円、研究研修費2,201,899円、看護師養成費9,600,000円)、医業外費用122,158,862円(企業債利息40,425,737円、その他医業外費用81,733,125円)である。

(5) 貸借対照表

(単位:円)

区分	資 産 の 部		
	27年度	26年度	対前年度増減
固定資産	1,353,234,452	1,365,705,064	△ 12,470,612
流動資産	400,561,086	441,964,001	△ 41,402,915
計	1,753,795,538	1,807,669,065	△ 53,873,527

(単位:円)

区分	負 債 ・ 資 本 の 部		
	27年度	26年度	対前年度増減
固定負債	956,186,479	1,049,448,819	△ 93,262,340
流動負債	290,619,066	291,725,889	△ 1,106,823
繰延収益	304,734,701	287,830,828	16,903,873
資本金	2,303,499,831	2,278,766,831	24,733,000
剰余金	△ 2,101,244,539	△ 2,100,103,302	△ 1,141,237
計	1,753,795,538	1,807,669,065	△ 53,873,527

貸借対照表の前年度との比較は上表のとおりであり、資産合計は1,753,795,538円で、前年度と比較して53,873,527円の減少である。

固定資産構成比率 (固定資産÷資産合計×100) = 77.16%

流動資産400,561,086円の内訳は、現金預金48,869,898円、未収金335,745,101円、有価証券19,880円、貯蔵品15,926,207円で、前年度と比較して41,402,915円の減少である。

流動負債290,619,066円の内訳は、企業債93,262,340円、未払金148,445,126円、賞与等引当金48,911,600円であり、前年度と比較して1,106,823円の減少である。

繰延収益304,734,701円の内訳は、長期前受金742,870,250円、長期前受金収益化累計額△438,135,549円であり、前年度と比較して16,903,873円の増加である。

流動比率を見ると、次のとおりである。

流動比率 (流動資産÷流動負債×100) = 137.83%

負債・資本合計1,753,795,538円に対する自己資本202,255,292円(資本金2,303,499,831円、剰余金△2,101,244,539円)の構成比率は次のとおりである。

自己資本構成比率 (自己資本÷負債・資本合計×100) = 11.53%

剰余金△2,101,244,539円の内訳は、資本剰余金13,142,875円(国県補助金292,875円、寄付金12,850,000円)、利益剰余金△2,114,387,414円(減債積立金37,000,000円、当年度末処分利益剰余金△2,151,387,414円)である。

《む す び》

大網病院事業会計における平成27年度決算審査結果は以上のとおりである。

大網病院については、「心のこもった笑顔で、わかりやすく納得のいく医療」を基本理念として、患者に対し良質で安全な医療を提供するために医師、看護師等の確保・育成に努めている。

また、地域の中核病院としても、救急・癌治療などの急性期医療から生活習慣病などの慢性期医療まで幅広い医療を展開している。

その経営状況は、総収益23億2,789万8千円(前年度22億9,199万3千円)、総費用23億2,903万9千円(前年度23億1,037万7千円)であり、差し引き114万1千円の純損失(前年度1億118万4千円の純損失)となっている。

大網病院は、手術室における空調設備の更新工事や電動ベッドを購入したりなど、各種医療機器や施設の整備を図るとともに、病棟には無菌治療室や化学療法室を整備し効率的な病院運営に努めている。

患者数については、入院患者数は対前年度比2.1%増加、外来患者数は0.3%減少という状況ではあるが、化学療法を行う患者の増加などにより、診療単価は引き上がっている。

今後も、市民の健康維持及び増進対策の拠点として、地域医療の充実とともに病院経営の健全化に向け努力されたい。